

吉野ヶ里町立東脊振小学校

学校教育目標

校長室だより 夢に向かって輝く児童の育成

児童数 356名 No.67

令和3年4月21日 文責 校長 林 寛 ポカもん



4月13日(火)は、新学期が始まってすぐでしたが、学年別に授業参観を実施したところ、たくさんのお家の方に来ていただきました。新規採用の2名を含む各クラスの担任も、子供たち以上に緊張しながら黒板の前に立って授業をしていました。緊張感の中にも時々、笑い声や拍手が聞こえてきていた教室もありました。新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度は数回しか実施できず、子供たちの学校での様子を見ていただく機会がありませんでしたが、今年度は感染症対策を工夫しながら、昨年よりも1回でも多く開催できるようにと考えています。雨のため足元が悪い中でのご来校、ありがとうございました。



家庭訪問について

安全を見るとともに、お家の方とも直接ごあいさつができればと考えています。コロナ渦であるため、短時間でマスクをしたまま対面すること、お家の中には上がらないようにすることをご理解ください。子供たちの下校時刻は、どの学年も14:50ごろになります。お留守の場合は、自宅確認だけさせていただきます、失礼して、資料などは子供たちに持ち帰らせます。時間を取って相談等を希望される場合は、遠慮なくお申し出ください。学校でお話を伺いたいと考えています。

本日(4/21)から6日間の予定で、家庭訪問を実施します。子供たちの自宅の確認と通学路の



登校班の様子

新学期が始まって、2週間が経ちました。登校班が新しくなり、上級生たちが班長や副班長として下級生を連れてきてくれています。思いやりや感謝の気持ち、責任感を育む活動として、本校が長年取り組んでいるものです。集合の時刻に間に合わなかったり、班がばらばらになってしまったりしているケースもあるようですが、地区担当や担任が子供たちから事情を聞きながら指導を進めていきます。人数が多い班や距離が遠い班は、慣れるまでに少し時間がかかることもあります。上級生の子供たちにはぜひ、「いつもありがとうね」「班長さんたちのおかげで助かります」といった声かけをお願いします(東小の子供たちはほめられて伸びるタイプが多いです)。

あいさつ

朝は、南門を中心にできるだけ通学路に立って、子供たちとあいさつを交わすようにしています。元気な声で「おはようございます」と呼びかけると、多くの子供たちが元気に返してくれます。中には、立ち止まってくれる子供もいます。あいさつは、子供たちが身に付けていかなければならないコミュニケーション中の大切なひとつです。毎日の生活の中での繰り返し、自然で気持ちのよいあいさつの醸成につながっていきます。学校では、全校で取り組む毎月のめあてのひとつに「気持ちのよいあいさつや正しい言葉づかいをしよう」をあげています。子供たちの元気なあいさつが飛び交う学校や地域になればと思います。



※引き続き、毎朝の登校前の健康観察と検温をお願いします(本人や同居家族にかぜ症状がある時は登校させない)。

東小学校
HPへ⇒

